

(保護者等の皆様へ)

この放課後等デイサービス支援評価表は、放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			私たちは少人数の子どもたち（4から8人）に対して、2部屋に別れ、7人のスタッフで専門的に療育に当たっている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			出席児童の数に対し、十分な職員数を配置している。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			身体訓練は広い空間で行い、学習指導は机と黒板や教材がある空間で行っている。発達障がいの特徴を配慮し、日々の活動は門を入るところから帰りの会まで、図やマークやルーティンで秩序づけられている。滑り止めやぶつかり防止対策などを施し、安全面に配慮している。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	○			事前に提出したフェイスシートや診断書をもとにアセスメントを作成し、個別支援計画とモニタリングをスタッフ相互にチェックし6ヶ月ごとに見直している。
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	○			活動計画は、本施設が教育方法に取り入れるシュタイナー教育のプログラムに基づき、季節に応じた芸術・体験活動プログラムが用意されている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		本施設の体験活動において、障害のない児童が参加する機会がある。放課後児童クラブや児童館との交流は施設として話されていないが、児童のなかには個別に交流をもつ児童がいる。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			本施設と契約する際、重要事項説明書や契約書の説明をする際、丁寧に説明している。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			日々、保護者とは子どもの状況を話し合い、課題が見られた際は事業所内相談を行い、共通理解のもと家庭と協力して児童の健全な育成に当たっている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			定期的に保護者との面談をもうけており、困難に直面する児童に対しては随時、保護者と話し合いをもっている。